医療問題

問 大町病院の現状把握と対策は

答 広域連合の業務を通じて支援

篠﨑久美子議員

【大町病院】

問 **危機的状態にある病院の現状把握と対策は。**

村長 医師不足については、同病院も医師確保を積極的に推進していると聞いています。村としては、同病院を二次医療圏を担う中核病院と認識しており、北アルプス広域連合の業務である「病院群輪番制病院運営費補助事業」を通じて支援している状況です。

【一人親家庭】

問 **把握する担当課とその家庭数は。そのうち父子家庭数は。**

村長 住民福祉課の担当で、世帯数は72、うち父子世帯は11です。

問 **抱える悩みや問題の把握と解消に積極的に行政が行動していますか。**

村長 相談窓口としては、福祉事務所に母子自立支援員兼女性相談員がいますし、住民福祉課と民生児童委員もその機能を持っていると思います。

問 **「ははそはの会」の活動と加入父子世帯数は。**

村長 父子会員はいません。活動内容は親睦を深めることを目的としています。

問 **一人親の悩みは子どもにも影響を与える事になりかねず、その早期の解消は大事であると思われますが。**

村長 相談しやすい雰囲気づくりと、福祉事務所の専門員の活用を広く周知して、早い段階で相談ができるよう努力します。

医師不足に悩む大町病院

【教育委員会】

問 **学校、PTA等との意思疎通の方法は。**

教育長 小・中学校とは校長・教頭会議を月１回開催し、必要により連絡調整を図っています。PTAとは村内４校の校外生活指導連絡会、PTA連合会連絡協議会が開催されているなかで、要望や意見をお聞きしています。今年度は、教育委員会事務局が各学校に出向き、校長・教頭との面談をしました。

問 **教育委員会の役目とその位置づけは。**

教育長 様々な教育関連事務処理の遂行であり、職務執行状況の点検及び評価を行い、公表してありますので、ご意見をお寄せいただきたいです。

問 **PTAの具体的要望の把握は。また、風通しの良い教育現場をつくるための教育委員会としての今後の方向性は。**

教育長 常に学校との連絡を蜜にし、その都度調整をしていますが、全てが希望どおりにいかないこともご理解をいただきたいです。今後については、村の実情や教育環境に応じた教育振興基本計画の策定に取り組んでいきたいとしています。